

### 3.夏の行事

**端午の節句** (5月5日) 家々で軒先にしょうぶ、よもぎをさし、ひし巻やつの巻を作ります。初男児の家では、のぼりはたや鯉こいのぼりを立てて祝います。この夜、しょうぶ湯に入ります。

**夏越の祓い** (6月30日) これは、わぎわいを除き去るための行事です。市内の神社などで、神官が人形の紙を切り、それに名前と年齢を書いて、神社でおはらいをしてもらいます。

**七夕** (7月7日) 青竹につけた色紙、短ざくなどに歌や願いごとを書いて飾ります。色紙、短ざくに字を書けば、字が上達するといわれています。

**冬木沢参り** (8月1日～7日) 家族の人が死んで初めての時、会津の高野山こうやさんといわれ、空也上人くうが開いたといわれる八葉寺はちようじ (河東町) にお参りします。この習慣は会津地方独特のもので

す。  
**お盆** (8月13日～16日) 古くから祖先の霊を迎え、供養する行事として行われています。仏壇ぶつだんに盆棚ぼんだなをつくり、盆棚には、飾る竹やなぎ・柳の木・かけそうめん・わかめ・ほおずきなどのほか花を供えます。柳の木は、仏様はしの箸をつくったり、長なすに4本さして馬をつくります。その馬に乗って仏様は帰られるといわれています。そして、お盆には、親類や近所の方がお供えを持ってきて、拝みおがに回ります。お盆に行われる盆踊りは、精霊なぐさを迎え、慰め、また、これを送るための踊りです。

**お日市** 7月1日からほぼ2ヵ月以上も各町内でお日市が続きます。これは、町内の神社、お寺、産土神などの夏祭りのことです。お日市は緑日のことえんにちです。市街地には、およそ50近い緑日があり、7月1日のお姥さまを皮切りに9月8日たての館のお葉師やくしさままで、ほとんど毎日、市内のどこかでお日市が行われます。お日市の夜、ゆかたに着がえ、うちわを持って夜店を回ることが、子供はもちろん、大人にとっても楽しみのひとつであり、町における夏の風物詩です。

### 4.秋の行事

**節句** 9月9日は初節句、19日は中の節句、29日は終わりの節句、これを三節句みせっくといい、それぞれもちをつけて供えます。秋には、職場の人や親しい人が集まって、いも煮会を行います。

### 5.冬の行事

**冬至** この日は、かぼちや (冬至かぼちや) や豆腐とうふを食べる習慣があります。

### 6.歳末の正月を迎える行事

**煤の年とり** 年の暮れに、家の中の煤をはき清めます。

**飾りもち** 飾りもちは、28日につき、29日にはつきません。九くは苦くに通じるからだといわれているからです。

**松飾り** 「一夜松を立てるな」といって、門松や拝み松も28日に飾ります。

※なお、歴代謹公行列 (9月23日) をメインイベントとした会津まつりが年4回行われています。

メ モ